

劇団ショーマンシップ

福岡市中央区唐人町商店街の中にある、甘棠館Show劇場を拠点とし、九州を中心にテレビ・ラジオ

など幅広く活動を続け、今年で創立27周年を迎える。

地元の歴史を掘り起こした時代劇「筑前亀門列伝シリーズ」「唐人歌舞伎シリーズ」は、時代劇フ

ァンのみならず、若い世代にも好評。

近年では福岡市無形民俗文化財に指定されている「博多仁和加」を

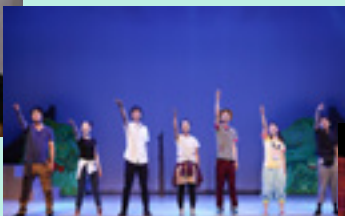
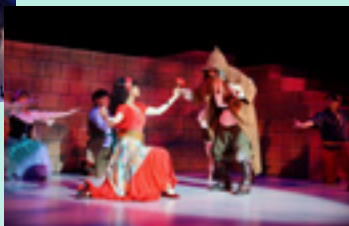
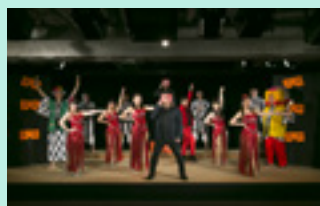
取り入れた舞台を行っており、幅広い年齢層からの人気を得ている。

その功績が認められ『令和元年度 福岡市民文化活動功労賞』を受賞。

学校の芸術鑑賞行事にも積極的に参加し、現在「ノートルダム物語」

「生きろ！～十五少年漂流記より～」「ないた赤おに」

「砂漠の王子の冒険～水の国のひみつ～」の巡回公演を行っている。



← 『劇団ショーマンシップ』ホームページはコチラより。

令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —

劇団ショーマンシップ

ないた赤おに



知っていますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1997年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

「文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—

わが国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちの優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

泣いた赤おに

原作：浜田廣介
脚色/演出：仲谷一志



「日本のアンデルセン」
「日本児童文学の三種の神器」
と呼ばれた浜田廣介の不朽の名作
「泣いた赤おに」を
原作に忠実に脚色！



原作の持つ言葉のリズムを大切にし、
「日本」の伝統文化を意識した演出。



何度も観たくなる作品。

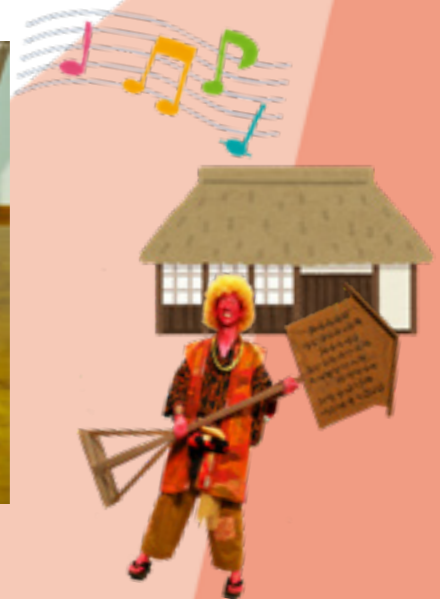
笑って

泣いて

感動して



友達大切さを、この作品を観て、改めて考えよう。



お祭り気分

楽しい音楽に合わせてのダンス！

うたおう うたおう みんなで うたおう
こんなに たのしい ことはない
アラ チョーチョーの コリヤ チョーチョー
ソレ チョーチョーの ホイ チョーチョー
おまつり きぶんで うたいましょう

おどろう おどろう みんなで おどろう
こんなに たのしい ことはない
アラ チョーチョーの コリヤ チョーチョー
ソレ チョーチョーの ホイ チョーチョー
おまつり きぶんで おどりましょう

うたおう おどろう まいにち さわごう
こんなに たのしい ことはない
アラ チョーチョーの コリヤ チョーチョー
ソレ チョーチョーの ホイ チョーチョー
おまつり きぶんで おどりましょう

キャストと一緒に、「お祭り気分」の音楽に合わせて
ポティーパーカッションをやってみよう！

あらすじ

山の崖に住む赤おには、村の人たちと仲良くなりたいと思っていました。

ところが、人間たちは怖がって赤おには近づいてきません。

そこで赤おには、

『ココロノ ヤサシイ オニノウチデス。 ドナタデモ オイデクダサイ。
オイシイ オカシガ ゴザイマス。 オチャモ ワカシテ ゴザイマス。』

と書いた立て札を立てました。

それでも人間は赤おにがだましているのだと思い、近づいてきません。

赤おにはとても悲しみ、その立て札を壊してしまいました。

すると、ひょっこり友達青おにが遊びにやってきました。

そして人間たちと仲良くなれる方法があるというのですが・・・